

編 集 後 記

骨粗鬆症の治療は近年進歩が著しい分野であり、多くの知見が蓄積されつつあるが、杉本先生には判りやすく体系的な内容の論文をいただいた。紫藤先生の温度感受性 TRP チャネルの論文は示唆に富む内容で、非常に刺激的に感じられた。藤井氏の論文は精力的なフィールドワークの賜物で、今後の発展を是非期待したい。江原先生の2症例は筆者も見聞したことのない珍しい症例で、日常診療こそが臨床家にとっての宝物であることを再認識させられた。長見先生の論文はいずれも臨床家としての経験、洞察が生かされたもので、特に先行症例の少ないアルコール性慢性膵炎症例についての報告は詳細なデータ解析と考察がなされている素晴らしい論文である。今回から筆者も編集後記に加わるようになった。微力ながら島根医学の発展にお役に立てば、と考えている。 (H. K)

島根医学編集委員

岩本正敬， 貴谷 光， 錦織 優， 児玉和夫， 葛尾信弘，
森本紀彦， 浅野博雄， 木下芳一， 佐藤比登美， 小林祥泰，
中山健吾， 徳島 武

島 根 医 学

平成22年12月31日発行

発行者 島 根 県 医 師 会

編 集 益田市乙吉町
編集者 岩本正敬

発行所 松江市学園南2丁目3番11号
有限会社 松陽印刷所